

**GMO** CLOUD

GMOクラウド

証券コード3788

2018年 第1四半期  
**決算説明資料**

# 免責事項

- ✓ 本資料の内容は、作成日時点において、一般的に認識されている経済・社会等の情勢ならびに当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- ✓ 本資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者がその他の目的で公開または利用することはできません。

## 1. GMOクラウド会社概要

## 2. 2018年 第1四半期決算概要

## 3. 事業概況

- ✓ クラウド・ホスティング事業
- ✓ セキュリティ事業
- ✓ ソリューション事業

# 1. GMOクラウド会社概要

---

# GMOクラウド会社概要

会社名	GMOクラウド株式会社
証券コード	3788（東証一部）
設立	1997年 5 月 株式会社アイル
事業内容	総合インターネットサービスの提供
主力事業	クラウド・ホスティング事業（クラウドサービス・ホスティングサービス） セキュリティ事業（電子認証サービス） ソリューション事業（IoT関連、O2Oアプリ、電子契約、ネットワークエンジン、 車両遠隔診断、車両流通（中古車フリマサイト））
親会社	GMOインターネット株式会社（東証一部：9449）被持株比率51.3% *2001年5月 GMOインターネットグループへ参加
子会社	15社 連結13社(国内6社、海外7社) 非連結2社（2018年3月末現在）
従業員数	連結 907名（2018年3月末現在）

# GMOクラウドの事業領域

## 【インターネットの安全を支える】

1. 安全なクラウド基盤の提供  
**(クラウド・ホスティング事業)**
2. 電子認証により、通信（取引）を守る  
ID管理により、利用者の入り口を守る  
**(セキュリティ事業)**

## 【企業のクラウド利用を支える・便利にする】

3. 「IoT関連」、「O2Oアプリ」、「電子契約」  
「ネットワークエンジン」、「車両遠隔診断」  
「車両流通（中古車フリマサイト）」  
**(ソリューション事業)**

## **2. 2018年 第1 四半期決算概要**

---

# セグメント別トピックス ハイライト

## クラウド・ホスティング事業

- 既存サービスの統廃合を継続、  
データセンターのラックスペース削減による原価削減

## セキュリティ事業

- ARM社のIoTデバイス管理クラウド  
「Arm® Mbed™ Cloud」とのシステム連携を開始
- 中国O-filmグループのShenzhen Atte Smart Tech社と  
IoTボードへ電子証明書を自動配布する共同研究開発開始

## ソリューション事業

- ディープラーニング(AI)技術を活用した、  
高精度検知コンピュータビジョンを開発



# 2018年 第1四半期連結決算概要[累計比較]

単位 百万円	2017年Q1実績	2018年Q1実績	前年同期比
売上高	3,007	<b>3,106</b>	+ 3.3%
営業利益	273	<b>360</b>	+ 32.1%
親会社帰属利益	186	<b>231</b>	+ 24.0%
EBITDA※	305	<b>391</b>	+28.4%

※EBITDA: 営業利益 + 販売管理費減価償却費 + のれん償却費

## 【プラス要因】

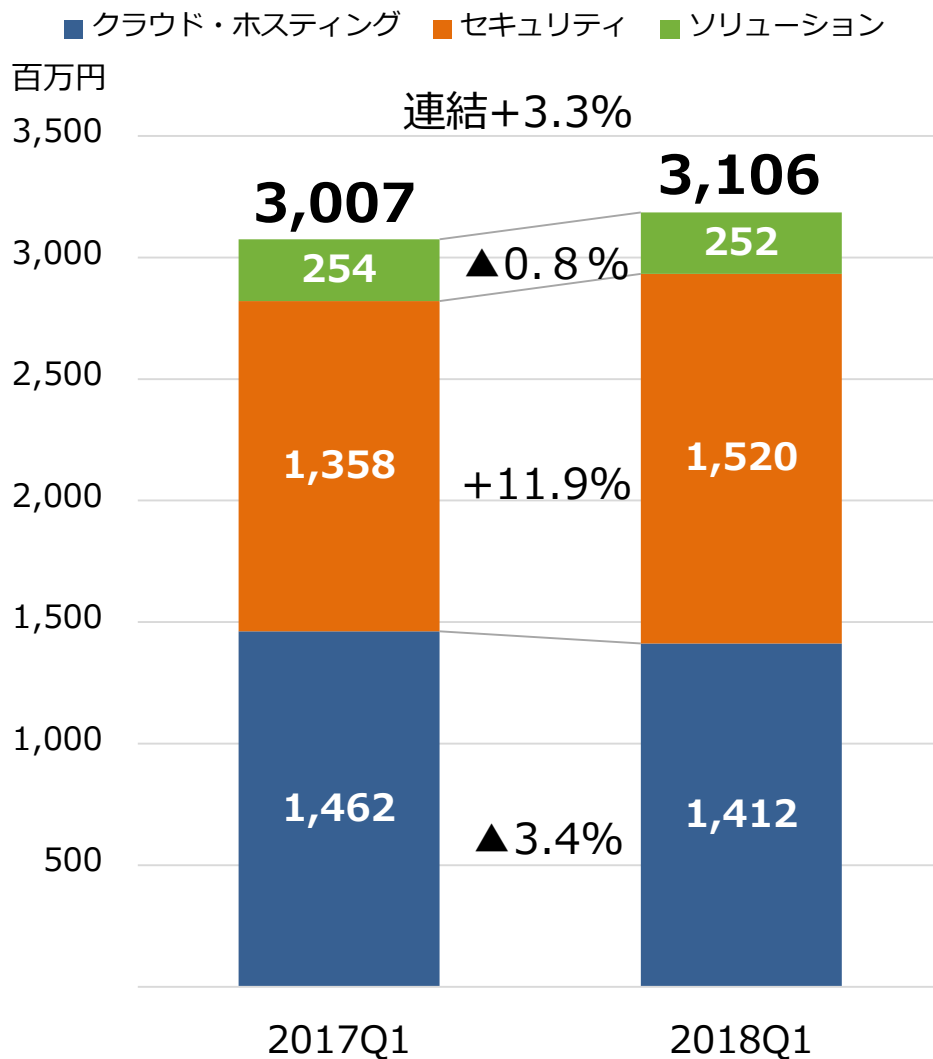
- ✓ セキュリティ事業が連結業績を牽引し、増収増益を達成
- ✓ クラウド・ホスティング事業とセキュリティ事業の売上原価減少

## 【マイナス要因】

- ✓ 前年のGMOカーズのクルモ事業減損影響から、ソリューション事業売上原価増加
- ✓ 特別損失として、韓国JCスクエアの投資有価証券評価損21百万円計上

# 2018年 第1四半期連結決算概要[累計比較]

## セグメント別売上高 (セグメント間取引控除前)



### ■クラウド・ホスティング事業

- ✓ クラウドは件数、売上高ともに増加、共用サーバー、専用サーバーは減少継続

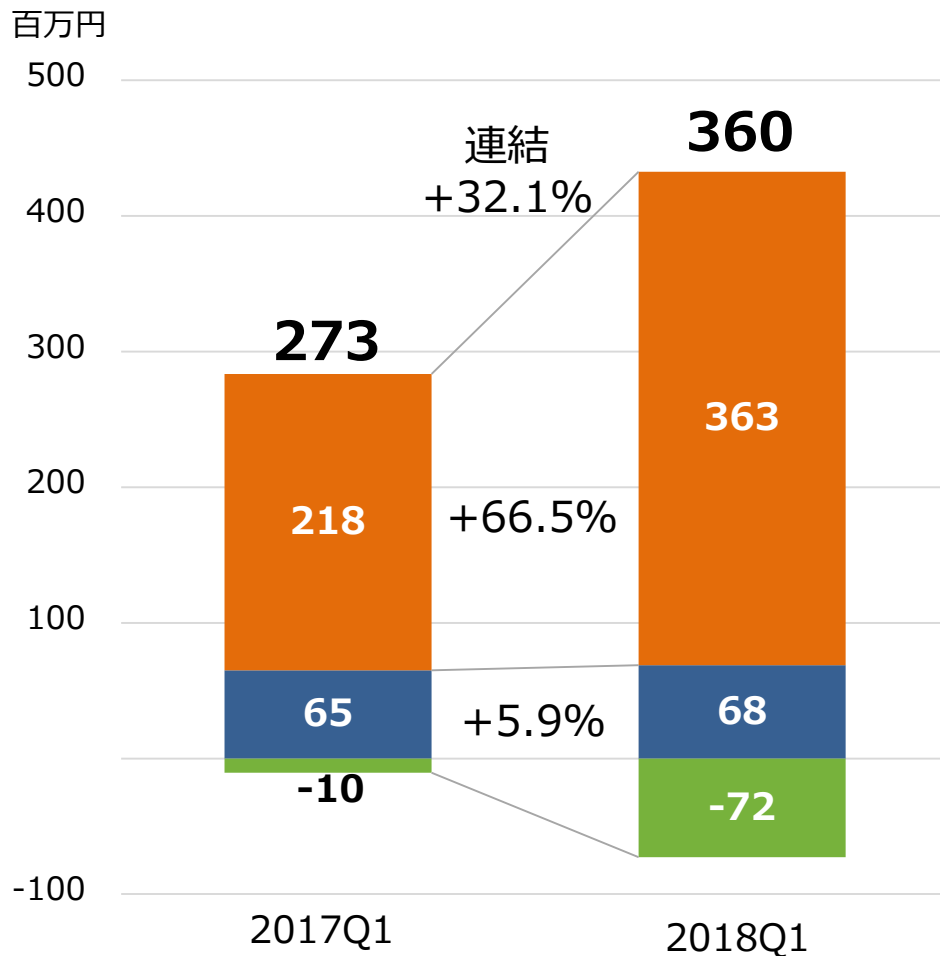
### ■セキュリティ事業

- ✓ 為替影響とリセラー（代理店）販売の強化
- ✓ 国内エンタープライズ営業が好調
- ✓ アジア・パシフィック市場の売上好調推移

# 2018年 第1四半期連結決算概要[累計比較]

## セグメント別営業利益 (セグメント間取引控除前)

■ クラウド・ホスティング ■ セキュリティ ■ ソリューション



### ■ クラウド・ホスティング事業

- ✓ データセンターのラックスペース削減により売上原価を抑制
- ✓ 管理費用の人件費減少

### ■ セキュリティ事業

- ✓ 売上高増加、売上原価の外注費減少による売上総利益の増加
- ✓ 人員増加による利益下げ要因

### ■ ソリューション事業

- ✓ 中古車フリマサイトのクルマ等の新規サービスにかかる費用の増加により利益減少

# 2018年 第1四半期連結決算概要[四半期比較]

売上高は前年4Qに比較し全セグメントで微減だったものの、  
原価の減少・販売管理費の減少に伴い増益

単位： 百万円	2017年 1Q	2017年 2Q	2017年 3Q	2017年 4Q	2018年 1Q	前四半期比
<b>売上高</b>	3,007	3,007	3,019	3,172	3,106	△2.1%
<b>営業利益</b>	273	203	248	336	360	+7.4%
<b>経常利益</b>	268	232	253	332	352	+6.0%
<b>親会社 帰属利益</b>	186	176	183	89	231	+159.0%

# 2018年 第1四半期セグメント情報 [前4Q比較]

クラウド、セキュリティ事業は、売上原価、人件費をはじめとする販売管理費の減少により増益。ソリューションは投資継続

売上高		百万円	
セグメント	2017年 4Q	2018年 1Q	前四半期 比
クラウド・ ホスティング	1,432	1,412	△1.4%
セキュリティ	1,538	1,520	△1.2%
ソリューション	270	252	△6.7%
消去又は 全社	-69	-77	-
連結計	3,172	3,106	△2.1%

営業利益		百万円	
セグメント	2017年 4Q	2018年 1Q	前四半期 比
クラウド・ ホスティング	66	68	+3.7%
セキュリティ	316	363	+14.8%
ソリューション	-48	-72	-
消去又は 全社	0	0	-
連結計	336	360	+7.4%

# 連結貸借対照表

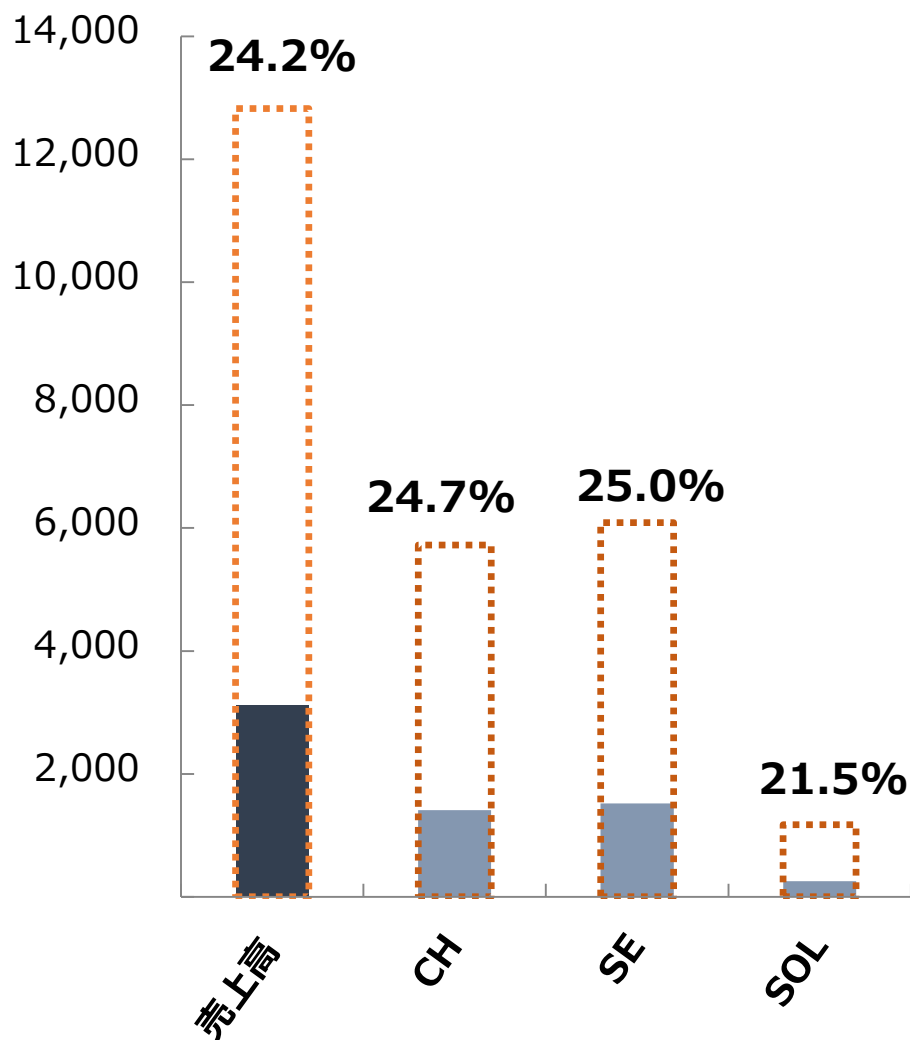
単位：百万円	2017年12月末	2018年3月末	増減率	
流動資産	5,544	5,378	△3.0%	<b>主な資産増減要因</b> ✓ 現預金 △258百万円 ✓ 売掛金 +106百万円 ✓ ソフトウェア +91百万円 ✓ 投資有価証券 △52百万円
(現金預金)	3,695	3,437	△7.0%	
(売掛金)	1,350	1,457	+7.9%	
固定資産	3,074	3,026	△1.6%	
(ソフトウェア)	671	763	+13.6%	
(のれん)	-	-	-	
(投資有価証券)	379	327	△13.8%	
(関係会社株式)	57	57	-	
資産合計	8,619	8,404	△2.5%	
負債	3,362	3,356	△0.2%	
(前受金)	1,554	1,546	△0.5%	
(借入+リース債務)	514	487	△5.3%	
純資産	5,256	5,047	△4.0%	
(株主資本)	4,957	4,870	△1.8%	
(その他包括利益累計)	261	140	△46.3%	
(非支配株主持分)	36	36	△0.1%	
負債・純資産合計	8,619	8,404	△2.5%	

# キャッシュ・フロー概要

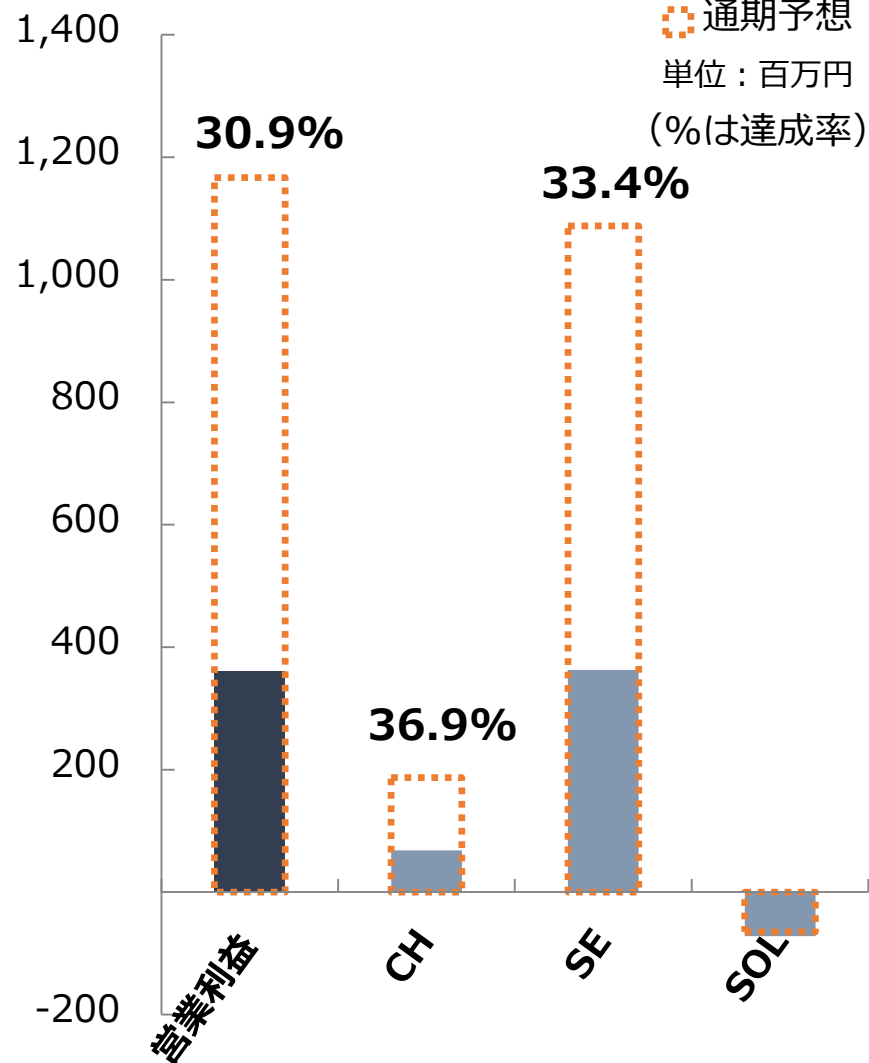
単位：百万円	2017年	2018年	前年同期比較
	1Q	1Q	
営業キャッシュ・フロー	455	<b>387</b>	税前利益 +56百万円 売上債権 △153百万円 未払金 +83百万円 法人税等 △62百万円
投資キャッシュ・フロー	△178	△ <b>193</b>	固定資産の取得支出 △3百万円 投資有価証券売却収入 △8百万円
財務キャッシュ・フロー	△312	△ <b>356</b>	子会社株式取得 +15百万円 配当金支払 △71百万円
現金同等物の増減額	△62	△ <b>258</b>	
現金及び現金同等物の 期末残高	3,097	<b>3,377</b>	

## 2018年 業績予実比較

## 売上高



## 営業利益



CH:クラウドホスティング事業 SE:ソリューション事業 SOL:ソリューション事業



# 2018年 通期業績予想

IoTおよびソリューション事業のコスト負担をこなし、  
セキュリティ事業続伸により増収増益計画

単位:百万円	2017年12月期 (実績)	2018年12月期 (予想)	2017年比
売上高	12,206	12,825	+ 5.1%
営業利益	1,061	1,167	+10.0%
経常利益	1,087	1,167	+ 7.4%
親会社帰属 利益	635	700	+10.1%
1株当たり 純利益(円)	55.17	60.77	-

## 2018年 通期業績予想〔セグメント別〕

- ✓ クラウド・ホスティングはIoT含む新規事業費用によりマイナス
- ✓ セキュリティは、IDアクセス関連の新規事業関連の投資継続

### 売上高

単位： 百万円	2017年 12月期 (実績)	2018年 12月期 (予想)	2017年比
クラウド・ ホスティング	5,707	<b>5,722</b>	+ 0.3%
セキュリティ	5,666	<b>6,089</b>	+ 7.5%
ソリューション	1,093	<b>1,171</b>	+ 7.1%
消去又は 全社	-260	<b>-157</b>	—
連結計	12,206	<b>12,825</b>	+5.1%

### 営業利益

単位： 百万円	2017年 12月期 (実績)	2018年 12月期 (予想)	2017年比
クラウド・ ホスティング	263	<b>187</b>	- 29.1%
セキュリティ	995	<b>1,088</b>	+ 9.3%
ソリューション	-200	<b>-108</b>	—
調整	+ 2	<b>+ 0</b>	—
連結計	1,061	<b>1,167</b>	+10.0%

## 3. 事業概況 **クラウド・ホスティング事業**

---

安全なクラウド基盤の提供

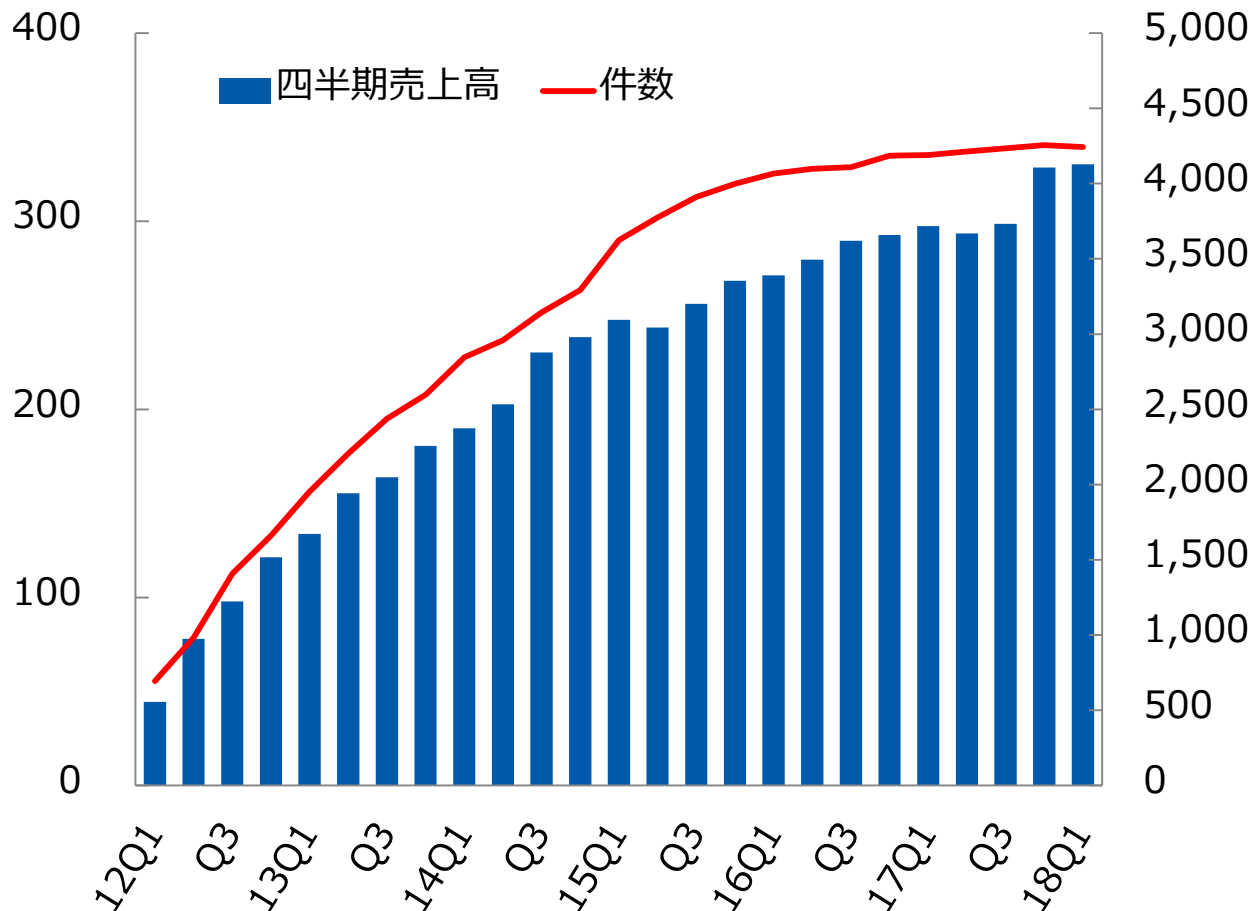
# クラウドサービス売上高と件数推移

## プライベートクラウド売上増加傾向

売上高  
百万円

クラウド売上高及び件数の推移

件数



2018年第1四半期

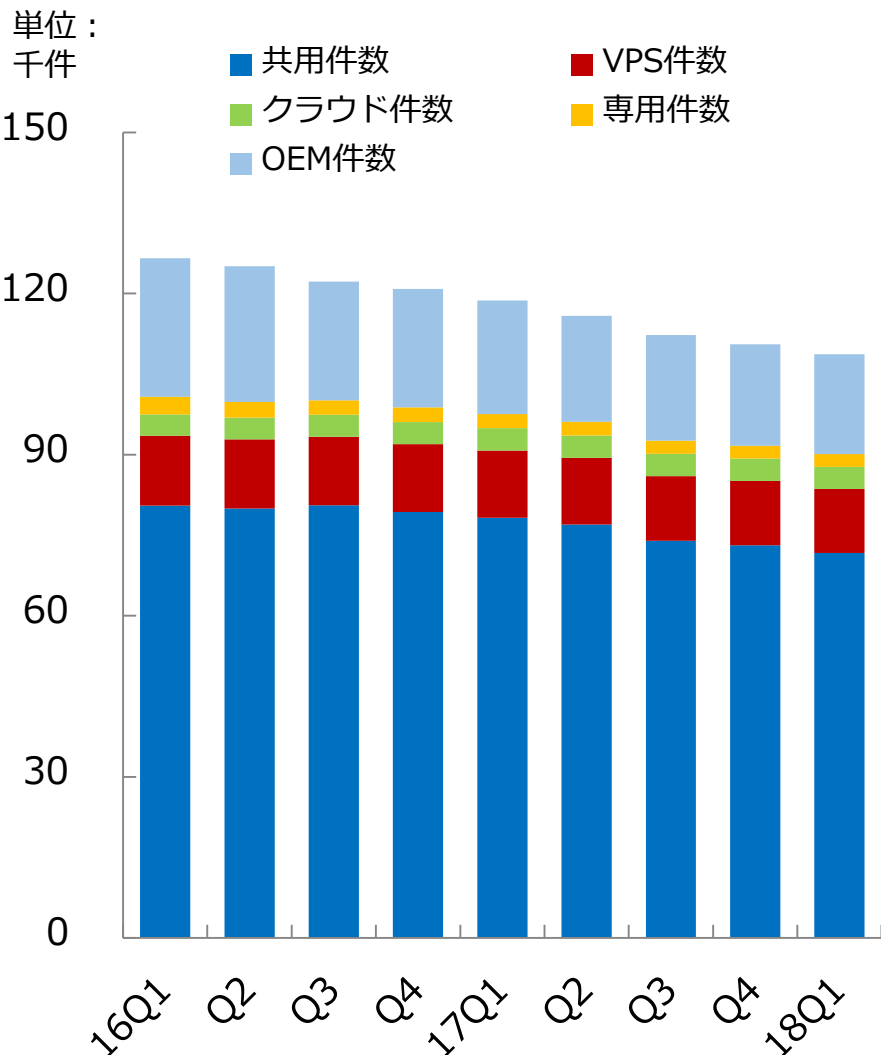
売上高：330百万円

前年同期比：

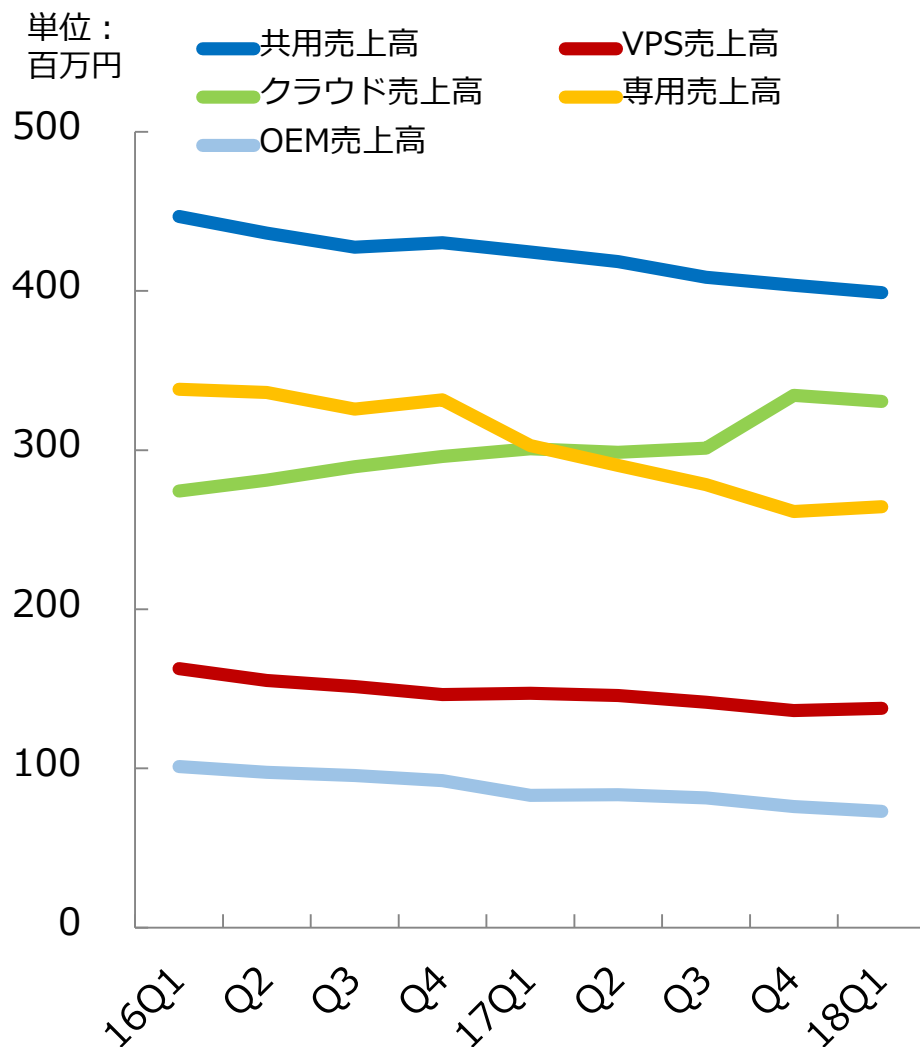
+11.0%

# クラウド・ホスティング事業 商材別実績推移

## 四半期別 商材別件数



## 四半期別 商材別売上高



## 3. 事業概況

## セキュリティ事業

---

電子認証により、通信（取引）を守る

# 「マネージドPKI for IoT」※1が「Arm® Mbed™ (エンベッド) Cloud(クラウド)」※2と連携

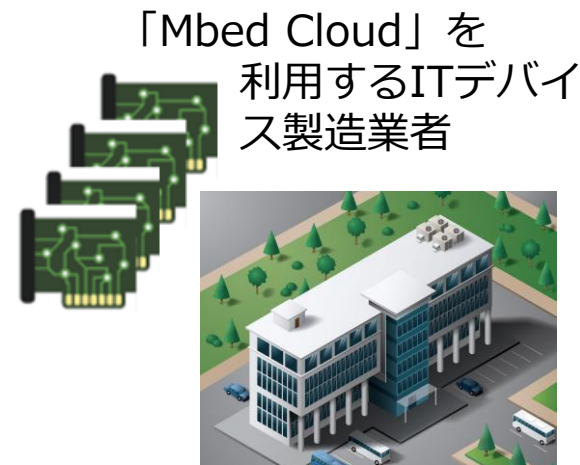


## 「Mbed Cloud」を利用するIoTデバイスの製造業者は、グローバルサイン電子証明書をIoTデバイスへ配布可能となる



グローバルサイン認証局

→  
API接続によりグローバルサインの電子証明書発行システムと連携させる



- ※1 マネージドPKI for IoTとは、IoTデバイス向けに大量かつ高速に電子証明書を配布できるサービス
- ※2 Arm Mbed Cloudとは、世界最大級の半導体設計会社Arm社が提供するIoTデバイス管理クラウドサービス

# 中国Atte社と電子証明書を自動配布する共同研究開発を開始

## 半導体へ直接「電子証明書」を発行するための研究開発着手 ネットにつながったモノを脅威から守る





# SKUID byGMO 内部統制の国際認証を取得

SKUID byGMOは、セキュリティや、個人情報の取り扱いが、国際基準を満たすことを証明する内部統制の国際認証『SOC報告書』を受領



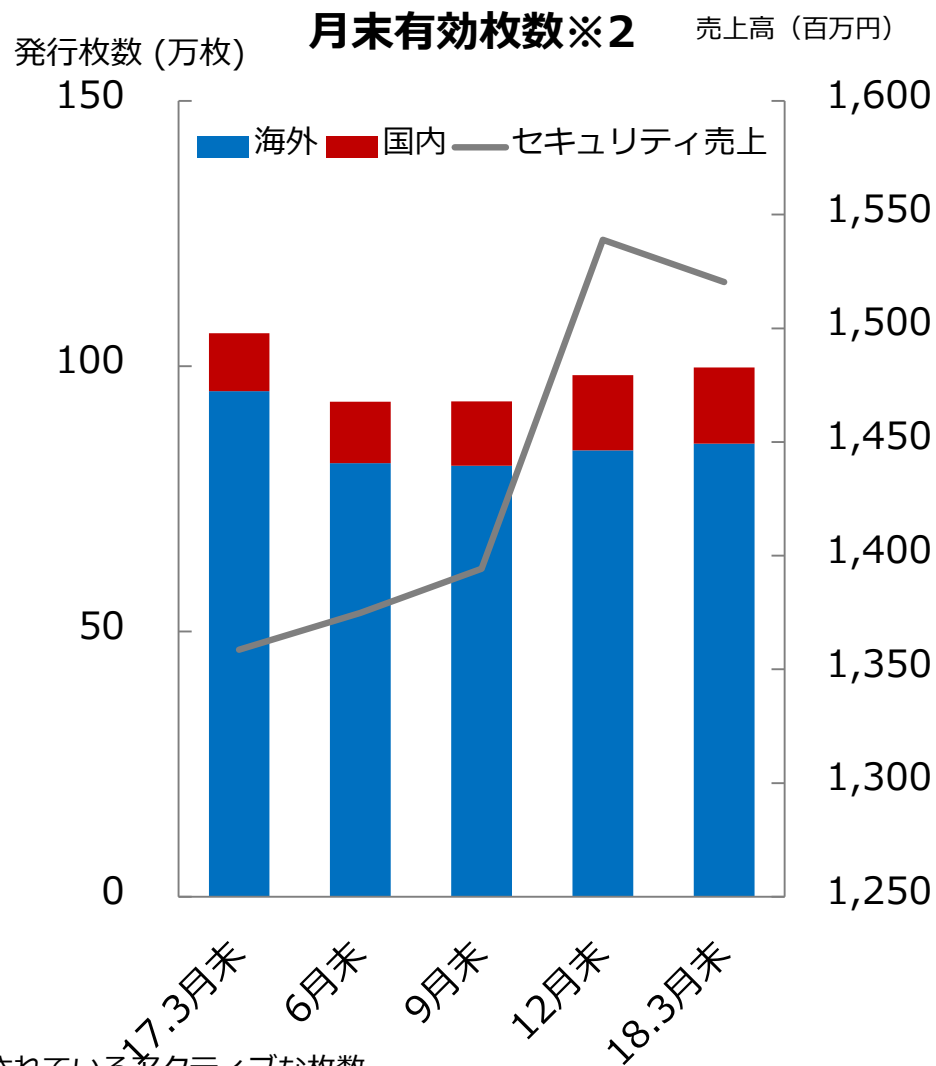
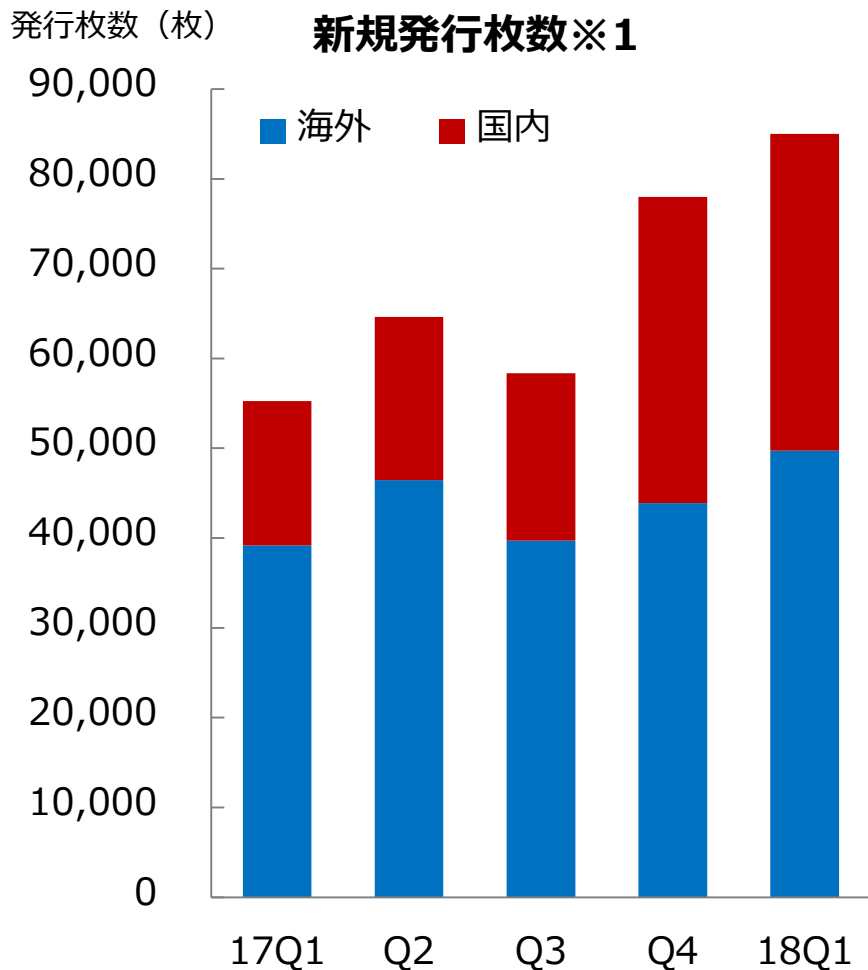
企業にとって、内部統制の整備状況等の整った適切な外部委託先を選定することは重要課題。その判断材料の一つとして『SOC報告書』が挙げられており受託時に有利に働く



<SOC報告書ロゴ>

# SSL証明書発行枚数

## 発行枚数は順調に増加



※1 枚数無制限契約及び毎月大量発行の枚数を調整した数値

※2 有効枚数とは、現在電子証明書の有効期限内であり実際に利用されているアクティブな枚数

## 3. 事業概況

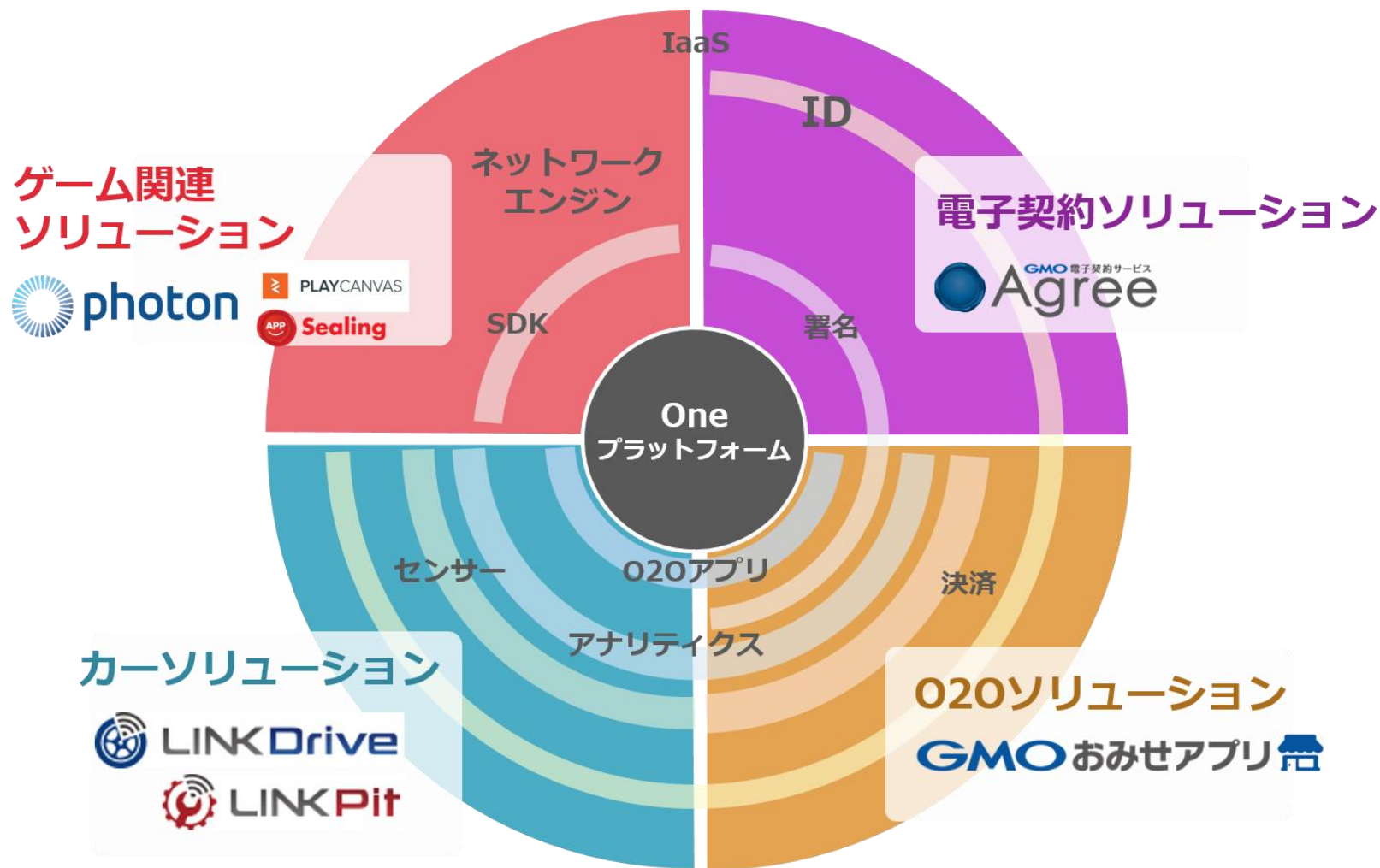
## ソリューション事業

---

プラットフォーム IoTソリューションサービスの提供

# ソリューション事業 プラットフォームサービス

データの蓄積とその活用、循環において、  
各サービスがリンクしたプラットフォーム型ビジネスを目指す



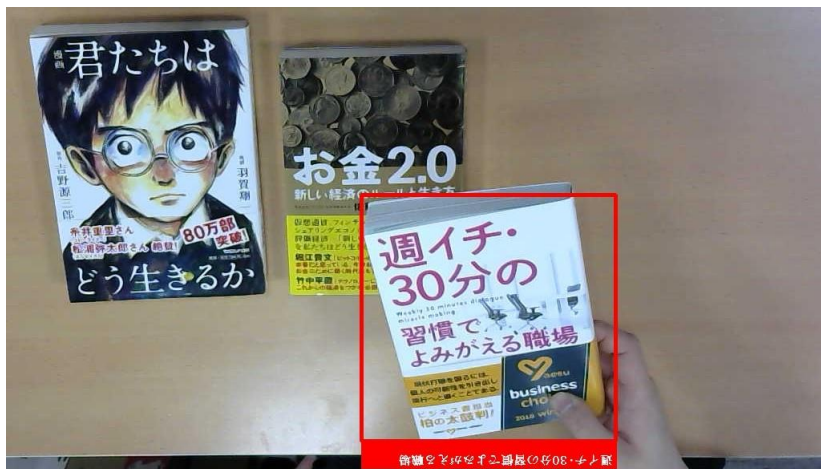
# ソリューション事業 IoTサービス (IoTの窓口 byGMO)

## IoTによる新しい暮らしの提案や企業の抱える課題への ソリューションの提案



# IoTの窓口 byGMO トピックス

- ✓ ディープラーニング技術※1を活用した、  
高精度検知コンピュータビジョン※2を開発



- ✓ 2月に東京駅「八重洲ブックセンター本店」にて実証実験を実施

<コンピュータビジョンによる書籍の検知イメージ>

## 【実験内容】

コンピュータビジョン（カメラ）を設置し、対象書籍の「ピックアップ回数」をカウント。カメラには、学習済みAIモデルが搭載されているため、お客様が対象書籍を手にするたびに自動でカウントし、集計データを数値化

※1ディープラーニングとは、データ解析で規則性や法則を見出し、予測・判断を行う、AIの学習技術である機械学習の一種

※2コンピュータビジョンとは、カメラに映った視覚（画像）をコンピュータが即時に処理・分析し、物体の検知や顔認識などを行う技術

# IoTの窓口 byGMO トピックス

- ✓ 日栄インテック、中国のShenzhen Atte Smart Tech社はスマートホーム事業製品の企画開発・製造・販売展開で協業

その一環として、伊藤忠都市開発による大阪市住之江区に建設中の新築分譲マンション『クレヴィア住之江公園』の日本初「スマートミラー」付洗面化粧台に「スマートミラー」の導入決定



【メイク動画を見ながら、メイクをする女性】



【歯磨きをしながら、単身赴任中の父親と話す女の子】



【身支度をしながら、動画を楽しむ親子】

# GMO電子契約サービス Agree

## ✓ 5つの機能を追加・改善

日本オプロ株式会社のドキュメントフレームワークサービスと連携開始  
→Salesforceなど顧客管理クラウド上で、一括にドキュメントの作成から管理まで可能





# 中古車フリーマーケット クルモ byGMO

## ✓ サイトのリニューアルにともない、キャンペーン開始

先着10名に10万円のキャッシュバック、  
特別ローン金利のWキャンペーンを実施中



**W** サイトリニューアル記念  
**W** キャンペーン

先着10名様	今だけ!
車両を購入すると 現金 <b>100,000</b> 円 キャッシュバック	ローン特別金利 通常 <b>5.9%</b> (実質年率) <b>▶ 3.9%</b> (実質年率)

## ✓ 5つの機能を追加・改善

出品車両が約1,000台に大幅増加、  
他ローン申し込み機能、車両相場表示  
機能を実装



# 車両遠隔診断 LINK Drive、LINK Pit

## 事業者向けにLINK Drive Proの提供を開始

- ✓ SNS連携、ポイント付与およびニュース配信等による集客支援機能追加
- ✓ リアルタイムの車両走行データの解析機能追加

LINKPit、LINKDrive導入  
のモデル店舗、協力店舗が  
増加中！

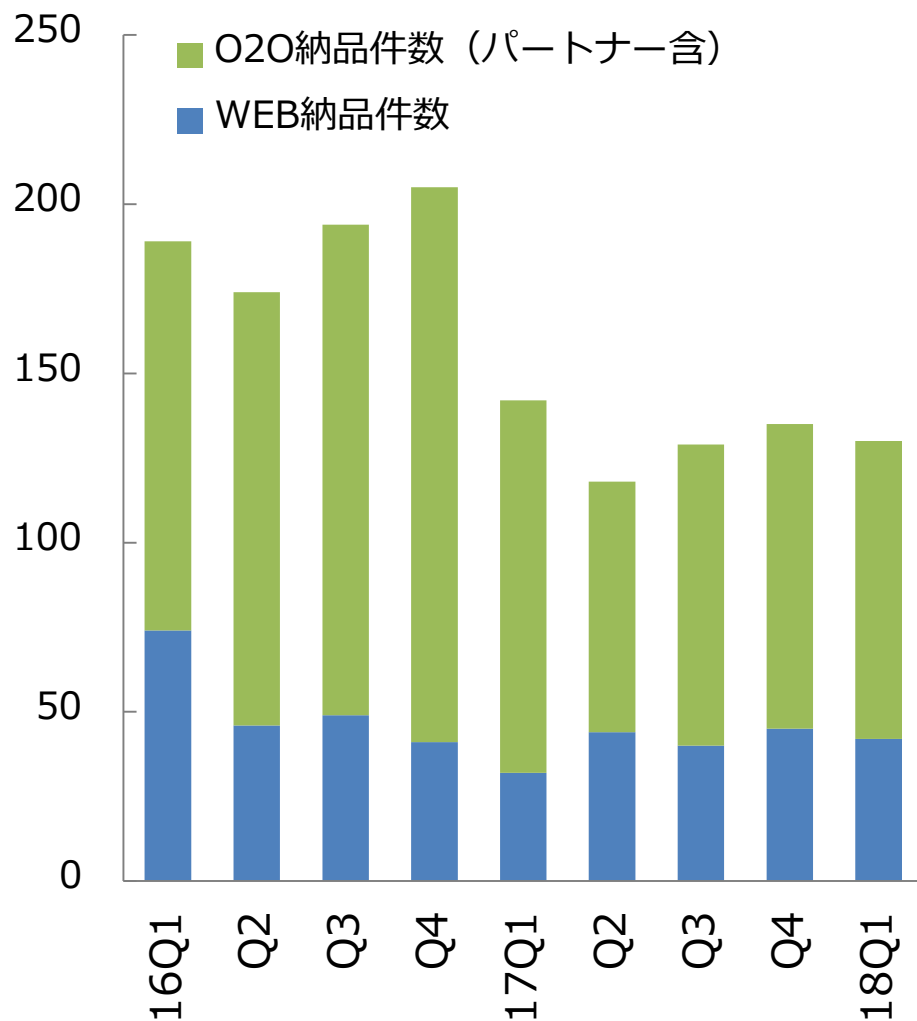


<協力店舗にて視察をする山田担当取締役>

## Webソリューション O2O※ GMOおみせアプリ

## 納品件数の推移

納品件数 単位：件



パートナー（代理店）経由の売上は減少したものの、直販の件数増加と平均単価の上昇あり。

- ✓ 国内ダウンロード数  
**117万件を突破!!**  
海外ダウンロード数は13万件
- ✓ 国内導入店舗数  
**3,100店超**  
海外導入店舗は200店超

(2018年3月末)

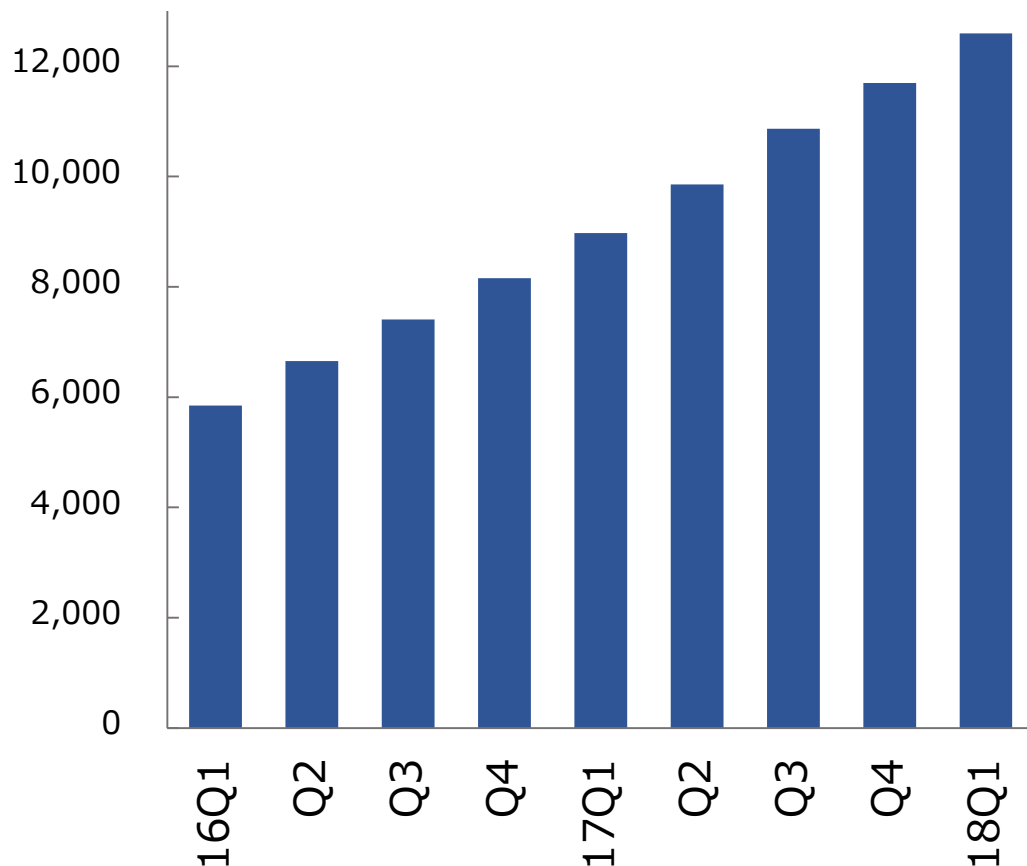
※O2O: オンラインとオフラインの購買活動が連携し合う、またはオンラインでの活動が実店舗の購買に影響を及ぼすサービスのこと

# ネットワークエンジン (Photon)

## 大手ゲーム開発会社を中心に受注案件増加中

累計数(人)

### アカウント数推移



- ✓ 各種セミナー開催、展示会への参加を通し、商材を紹介。写真は3月に大阪で行われた Game Creators Conference のブースの様子





GMOクラウドグループは  
One GMO CLOUD へ

## 当資料に関するお問合せ先

GMOクラウド株式会社 社長室 IR担当 池谷、松下

TEL : 03-6415-6100

E-mail : [ir@gmocloud.com](mailto:ir@gmocloud.com)

または <https://ir.gmocloud.com/contact/ir/> よりお問合せください。